

令和6年度

楠隼の教育推進委員会 学校評価のまとめ

令和7年3月

鹿児島県立楠隼中学校・楠隼高等学校

もくじ

1	楠隼の教育推進委員名簿	1 ページ
2	評価の流れ	2 ページ
3	経営の概要	3 ページ
	(1) 令和 6 年度学校経営方針	
	(2) 経営方針に対する各部の努力点	
4	評価結果	7 ページ
	(1) 生徒による評価	
	(2) 保護者による評価	
	(3) 教職員による評価	
	(4) 評価の分析	
5	楠隼の教育推進委員からの意見及び質問	11 ページ

1 楠隼の教育推進委員名簿

○ 楠隼の教育推進委員（5人）

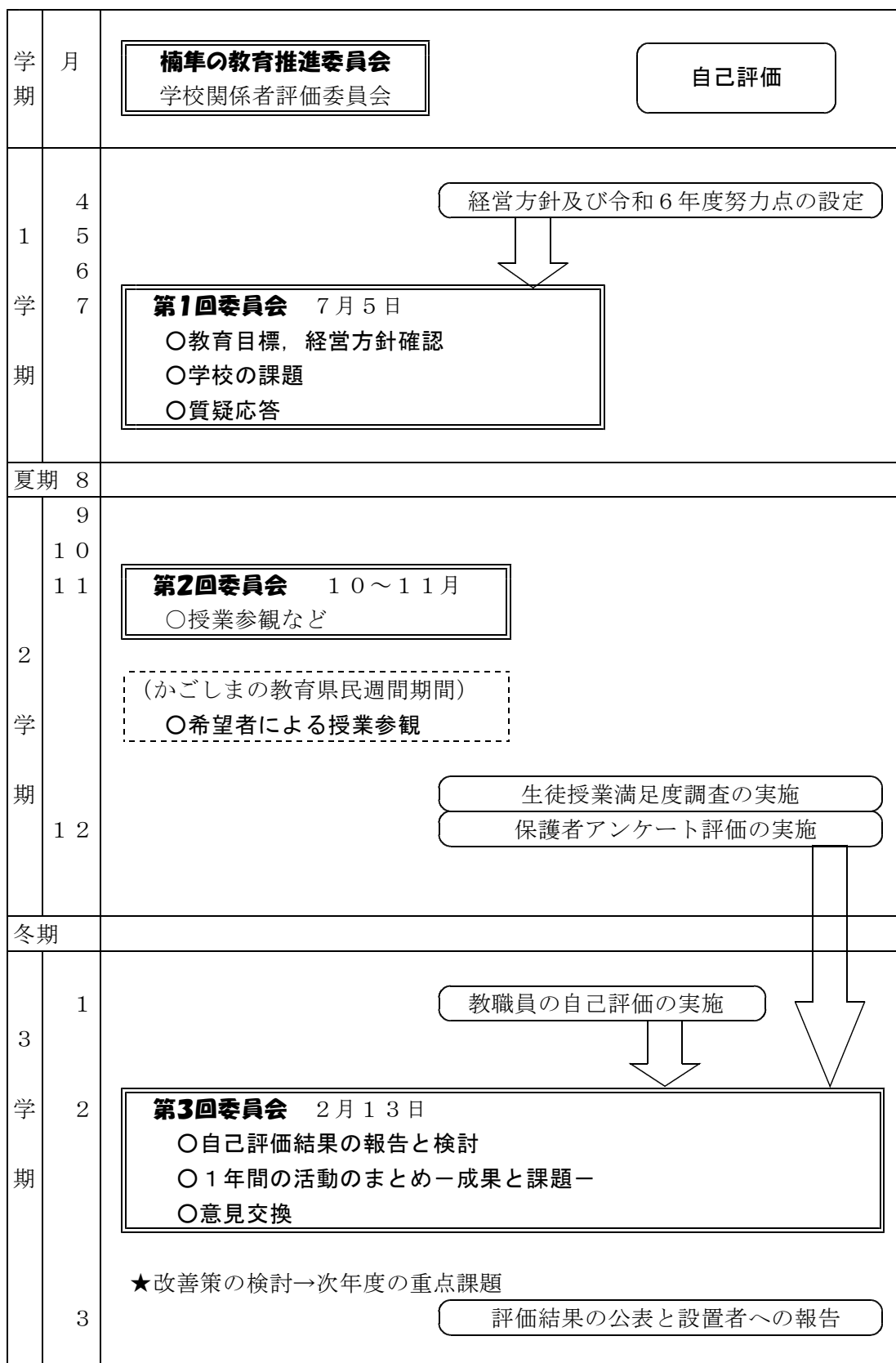
[敬称略]

氏 名	役 職 等
福 元 了	肝付町副町長
飯ヶ谷 香	J A 鹿児島きもつき高山支所長
畠 野 裕 昭	高山小学校校長
瀬戸口 浩 司	高山中学校校長
乙 藤 昇	P T A 副会長（中学会長）

○ 事務局（管理職・中高主任等 16人）

氏 名	役 職 等
徳 留 敏 郎	校長
上 野 宏 樹	教頭（中学）
大 山 和 也	教頭（高校）
高 崎 智 博	事務長
益 山 大 斗	教務主任（中学）
村 上 武 利	教務主任（高校）
喜 入 綾 乃	進路指導主任（中学）
武 富 幸 司	進路指導主任（高校）
佐 伯 侑 哉	生徒指導主任（中学）
荒 木 就 平	生徒指導主任（高校）
塚 元 宏 太	保健主任（中学）
稲 次 拓 斗	保健主任（高校）
安 樂 舟	広報戦略部主任（中学）
井 上 敬 介	広報戦略部主任（高校）
大 堤 香緒理	栄養教諭
小 島 昌 吾	舎監長

2 評価の流れ



3 経営の概要

(1) 令和6年度学校経営方針

ア 教育目標

日本国憲法及び教育基本法の精神にのっとり、自己を律し、学を修め、他者を益しながら、生涯を通じて主体的な態度で社会や人生を切り開いていく人材を育成する。

イ 中高一貫教育の理念

全寮制中高一貫男子校として、学校と寮で6年間の計画的、継続的な教育を推進し、切磋琢磨する仲間づくりを通じて、全人教育と創造的知性の育成を求める。

ウ 教育方針

- (ア) 「大志・叡智・至誠」の校訓のもと、中高一貫教育校として、全職員が率先垂範、一致協力して教育目標の達成に努める。
- (イ) 「人権教育は全ての教育の基本である」という認識のもと、様々な人権問題について正しい認識と理解を深めるとともに、全ての教育活動において人権教育の一層の充実を図る。
- (ウ) 伝統や文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度の育成に向けて、体験活動や郷土教育等、特色ある教育活動を推進し、地域の信頼と期待に応える。

エ 本年度の努力目標

教科指導、進路指導、生徒指導等すべての教育活動において、中高6年間を見通し、相手意識をもって指導を行う。

- (ア) 中高6年間を見通した教科指導及び進路指導の充実
- (イ) 生徒指導の充実（人間力を伸ばす教育）
- (ウ) 服務規律の厳正確保
- (エ) 入口（募集定員）の確保
- (オ) 男女共学、通学生の受け入れに向けた検討・準備

(2) 経営方針に対する各部の努力点

部	努 力 点	具 体 策
教 務	1 より充実した学校生活を送ることができるように教育課程や行事の工夫・改善を図る。	・より充実した教育課程・行事計画等を編成できるようにする。 ・各部会のまとめ役として運営委員会を活用する。各部署との連携を深め、全職員でのよりよい学校作りを目指す。
	2 学校と寮で連携しながら、学習環境を充実させ、生徒の学力向上を図る。	・行事実施時の校時や時間割を工夫して授業が計画的に行われ、寮の学習指導が滞らないよう工夫する。 ・授業内容を充実させるために、考查問題の検討会や習熟度別授業、授業評価等を計画的に行う。
	3 中高一貫教育の利点を生かしながら生徒の学力を向上させる。	・全国学力推移調査等の結果を踏まえながら、学校の目標を突破できるように、より効果的なカリキュラムの改善を図る。 ・中学部、高校部の連携を強め、事後対応ではなく、事前対応がしっかりとできるようにする。
	4 地域や周辺小中学校との協力体制を作る。	・肝付町の地域支援委員会等と連携することにより、農業漁業民泊体験等の行事の充実を図り、地域との連携を深める。
	5 諸帳簿の公正な記録と厳正な管理をする。	・生徒指導要録を含めた全ての公簿及び公的記録について、厳正な管理・保管に努める。 ・校内LANにより情報の活用と共有化を進めながら、個人情報の厳正確保を徹底する。

部	努 力 点	具 体 策
広報戦略	1 広報活動の内容や方法を工夫して、志願者数の増加を目指す。	・これまでの広報実績を踏まえながら、県内外から生徒募集する広報戦略を検討し、効果的な広報に努める。 ・中学校等への効果的な情報発信をするため、生徒募集に関する方法や説明の工夫に努める。
進路指導	1 中高一貫教育校として、6年間または3年間を通した「自立した学習者」育成のための進路指導を充実させる。	・中高一貫教育校の利点を活かし、深化学習とその定着を図る教育課程・進路企画・行事を編成する。 ・授業評価の満足度が平均9割となるように、理想とする進路指導の実現には授業力向上が不可欠であるという強い意識を持ち、目標が明確で生徒の思考力・表現力を高めるための授業実践の必要性を共有する。
	2 生徒たちが自身の可能性を信じて目標を立て、その実現に向けて主体的かつ計画的に学習に臨む姿勢を育成するための指導を体系化する。	・特色ある課題研究活動やトップリーダー教室、進路講演会、大学出前授業などの進路意識の高揚を図る企画に加え、大学・学部・学科研究を発達の段階に応じて体系的に実施する。
	3 難関大を含めた国公立大学の合格指標の実現に力を尽くす。	・学校と寮での学習指導により確実な学力の定着を図る。課外等を効果的に活用し、難関大入試にも着実に対応できる高い学力を獲得させる。 ・入試問題を意識した実力考査を実施する。
	4 教師の授業力向上を図る。	・研究授業や相互授業参観、授業満足度調査、教科ごとの問題作成検討会等の校内研修を、授業を中心とした学習指導力の向上につなげる。
寮務Ⅱ (学習)	1 学習習慣の確立に努める。	・学力向上は学習習慣の確立が不可欠であるという前提に立って、時間を大切にして学習に取り組む雰囲気を形成する。 ・学習習慣の確立のため、寮生活の時間厳守を徹底し、学習指導員による指導の充実や学習の徹底をはかる。
	2 難関大学への対応ができる学力を育成する。	・目標の達成に向けて、目標の明確化したメリハリのある学習指導がなされるよう、適切な学力分析や対策の研修や見届けを十分に行う。 ○高校一国立大合格6割、うち難関大学(学部)2割、対外模試平均偏差値60(3年次)
	3 学力差や学力の個別化に対応するシステムを構築する。	・学習進度の速い生徒には寮ではタブレットを活用した東進ハイスクールのコンテンツを活用させる。

部	努 力 点	具 体 策
生徒指導	1 基本的な生活習慣の確立を図る。	・学校・寮の全教育活動において全職員一体となって、共通理解・共通実践を図り、指導を行う。
	2 心の触れ合いを重視し、積極的な生徒指導に努める。	・アンテナを高くし、生徒一人一人の変化や姿に注目し、積極的な生徒指導を推進する。 ・教諭個々のカウンセリングマインドを育成する。
	3 生徒一人一人が存在感を持ち、共感的な人間関係を育める環境づくりに努める。	・切磋琢磨しながら、豊かな集団生活が営まれる学校・学級、学校・寮の教育的環境を形成する。
	4 中高一貫教育校として、発達段階に応じた計画的・系統的な指導の充実を図る。	・各学年の発達段階に応じた指導を行い、異年齢集団の中で望ましい人間関係を形成できる集団づくりに努める。
	5 いじめの未然防止、早期対応を徹底する。	・いじめは絶対に許さない、許されない姿勢を学校全体で共有し、切磋琢磨する中で他者を思いやれる情操の育成に努める。
	6 心身に不安を抱えた生徒の早期発見と支援を図る。	・学級担任・学年・各分掌・寮スタッフとの連絡を密に図り、教育相談等の組織的な取組を通して、問題の予防・早期発見・早期解決に努める。 ・学校職員、寮職員で個々の生徒の状況を丁寧に確認する。 ・課題のある生徒については、適切な時期に家庭とも密に連絡を取り合い、必要に応じて家庭の支援をもらう。
保 健	1 生活リズムを確立させる。	・全寮制の特徴を活かし、起床・就寝を含めた保健指導を行い、規則正しい生活のリズムを身に付けさせる。
	2 安全で衛生的な学校環境を形成する。	・定期的な安全点検に加え、清掃指導の徹底により、公共心の育成と豊かな情操を育て、校庭や校内の美化に努める。
	3 健康意識を向上させる。	・健康診断や体力テスト等の実施、食育を通して、自己の健康状態や体力等を把握し、その改善・向上に努める。
	4 防災意識を向上させる。	・防災・避難訓練を実施することで、防災意識を向上させ、危機管理ができる生徒を育成する。
	5 健康相談を推進し、生徒一人一人が悩みや課題を解決できる力を育成する。	・諸検査や健康相談等を通して、生徒個々の心身の健康状態を把握し、適切な指導と改善に努める。
食 育	1 食生活への理解を深め、望ましい食生活の習慣化を図る。	・職員や生徒会、寮組織による点検活動を行い、手洗い等を徹底し、衛生保全に努める。 ・楽しく穏やかな食事の雰囲気をつくり、豊かな人間関係づくりに努める。

部	努 力 点	具 体 策
寮務Ⅰ (生活)	1 寮則を遵守し、よりよい生活習慣を確立して、仲間づくりを推進する場とする。	・時間厳守をむねとし、規則正しい生活習慣の確立に努め、知力・体力ともに充実させる。 ・舎監の指導の下、寮職員の共通理解を図り、一人一人の寮生の生活を見守りながら、見届けをしっかりと行う。 ・朝点呼・身支度・朝食・諸準備、登校、帰寮後の風呂・夕食・学習指導・就寝の流れを確立する。 ・食育の場として栄養教諭の指導の下、安全・安心なおいしい食事を提供する。
	2 寮生徒会を運用し、寮生活について自分たちで考えさせることで規則の遵守の徹底を図る。	・リーダーを中心とした話し合いができるように寮務部職員が事前・事後の指導を徹底する。 ・寮務部は寮生徒会の活動状況の支援を行う。 ・オリエンテーションやフロア連絡会により規則を十分理解させる。
	3 棟単位や班単位での活動をととして、社会性・人間性の育成を図る。	・寮行事への参加等を通じて、仲間づくりとともに、地域社会との連携を深める。
	4 保護者との連携や連絡を密にする。	・保護者への情報発信は、定期的に学校から郵送する。その中に寮生活の様子のわかる情報も添付する。 ・ホームページでも寮生活の活動の様子を随時紹介する。
	5 個別相談を随時実施し、充実した寮生活が送れるようにケアをしていく。	・舎監による生徒の相談を随時行う。

4 評価結果

(1) 生徒による評価

4 : そう思う, 3 : 少しそう思う, 2 : 思わない, 1 : 全く思わない

① あなた自身のことについて教えてください。		今回（令和6年度）					前回（令和5年度）					
		平均	4	3	2	1	平均	4	3	2	1	
ア	あなたは授業に対し興味・関心をもち、意欲をもって参加している。	全体	3.6	59%	38%	2%	1%	3.5	54%	42%	4%	0%
		中学	3.6	64%	34%	1%	1%	3.6	63%	52%	5%	0%
		高校	3.5	53%	43%	3%	1%	3.4	43%	54%	3%	0%
イ	あなたは寮則を遵守しており、寮学習もきちんと取り組んでいる。	全体	3.4	45%	51%	3%	1%	3.4	46%	51%	3%	0%
		中学	3.4	45%	52%	2%	1%	3.4	45%	51%	3%	1%
		高校	3.4	46%	49%	4%	1%	3.5	47%	51%	2%	0%
ウ	あなたは校訓「大志」「叡智」「至誠」を日々のなかで意識している。	全体	2.8	21%	44%	29%	6%	2.6	14%	40%	36%	10%
		中学	2.9	22%	51%	25%	2%	2.7	11%	49%	35%	5%
		高校	2.7	20%	36%	33%	11%	2.5	17%	30%	37%	16%
② 授業の全体的な印象について教えてください。		今回（令和6年度）					今回（令和5年度）					
		平均	4	3	2	1	平均	4	3	2	1	
エ	授業の学習内容や到達目標は明確で、それに沿って進められている。	全体	3.5	52%	43%	4%	1%	3.5	50%	46%	4%	0%
		中学	3.5	52%	42%	5%	1%	3.5	56%	39%	5%	0%
		高校	3.5	53%	43%	3%	1%	3.4	44%	54%	2%	0%
オ	授業では思考したり表現したりする力を高めるような活動がある。	全体	3.6	64%	31%	4%	1%	3.6	60%	38%	1%	1%
		中学	3.7	73%	22%	4%	1%	3.7	69%	30%	1%	0%
		高校	3.5	54%	42%	3%	1%	3.4	49%	48%	1%	2%
カ	授業の説明や解説等は分かりやすく、満足感が得られる内容である。	全体	3.5	54%	42%	4%	0%	3.6	53%	43%	4%	0%
		中学	3.5	56%	38%	6%	0%	3.5	55%	42%	3%	0%
		高校	3.5	52%	46%	1%	1%	3.4	50%	44%	5%	1%

昨年度比0.3以上プラスの場合「↑」、0.3以上マイナスの場合「↓」

(2) 保護者による評価

4 : そう思う, 3 : 少しそう思う, 2 : 思わない, 1 : 全く思わない

			今回（令和6年度）					前回（令和5年度）						
				平均	4	3	2	1		平均	4	3	2	1
ア	本学の建学の理念は、日々の教育に生かされている。	全体		3.6	66%	31%	2%	1%		3.4	51%	40%	6%	3%
		中学		3.6	62%	34%	3%	1%		3.4	53%	38%	6%	3%
		高校	↑	3.7	71%	27%	1%	1%		3.4	48%	44%	5%	3%
イ	全国から生徒の集まる本校は、様々な価値観の違いを乗り越え、仲間づくりを推進させる場となっている。	全体		3.9	91%	8%	1%	0%		3.8	86%	11%	2%	1%
		中学		3.9	89%	10%	1%	0%		3.8	87%	10%	2%	1%
		高校		3.9	94%	5%	1%	0%		3.8	86%	12%	1%	1%
ウ	文化祭や体育祭などの諸行事に、生徒が積極的に関わっている。	全体		3.9	91%	9%	0%	0%		3.9	90%	9%	1%	0%
		中学		3.9	91%	8%	1%	0%		3.9	88%	11%	1%	0%
		高校		3.9	90%	10%	0%	0%		3.9	92%	7%	1%	0%
エ	友人から多くの刺激を受けている。	全体		3.9	87%	12%	0%	1%		3.8	85%	10%	3%	2%
		中学		3.8	85%	14%	0%	1%		3.8	85%	10%	4%	1%
		高校		3.9	90%	9%	1%	0%		3.8	86%	11%	1%	2%
オ	生徒の動静（欠席・遅刻・早退等）に関する報告など、保護者と連携がとれている。	全体		3.6	65%	27%	6%	2%		3.4	59%	26%	14%	1%
		中学		3.6	65%	27%	6%	2%		3.5	63%	21%	15%	1%
		高校		3.6	66%	26%	7%	1%		3.4	53%	33%	14%	0%
カ	それぞれの能力に応じて、成績を伸ばす適切な学習指導がなされている。	全体		3.3	46%	39%	12%	3%		3.1	37%	39%	21%	3%
		中学		3.2	41%	39%	15%	5%		3.2	40%	39%	17%	4%
		高校	↑	3.4	52%	40%	8%	0%		3.1	34%	40%	25%	1%
キ	熱心な進学指導がなされており、生徒の可能性を伸ばしている。	全体		3.4	53%	35%	9%	3%		3.2	44%	38%	15%	3%
		中学		3.3	51%	33%	11%	5%		3.2	45%	35%	16%	4%
		高校		3.5	55%	39%	6%	0%		3.3	42%	43%	14%	1%
ク	寮は、よりよい生活習慣を確立させる場となっている。	全体		3.5	61%	32%	5%	2%		3.5	61%	28%	8%	3%
		中学		3.5	60%	32%	6%	2%		3.5	67%	21%	9%	3%
		高校		3.5	62%	32%	5%	1%		3.4	53%	38%	7%	2%
ケ	広報活動がよくなされており、学校の様子が分かる。	全体	↑	3.5	57%	35%	8%	0%		3.2	39%	42%	17%	2%
		中学		3.5	58%	34%	8%	0%		3.3	43%	43%	12%	2%
		高校	↑	3.5	55%	36%	9%	0%		3.1	33%	43%	22%	2%

昨年度比0.3以上プラスの場合「↑」、0.3以上マイナスの場合「↓」

(3) 教職員による評価

4 : そう思う, 3 : 少しそう思う, 2 : 思わない, 1 : 全く思わない

			今回 (令和6年度)					前回 (令和5年度)				
			平均	4	3	2	1	平均	4	3	2	1
ア	多様な指導や相談の場面で、校訓「大志、叡智、至誠」の精神が、生徒たちに培われるよう努めているか。	↑	3.5	59%	37%	0%	4%	3.2	25%	67%	8%	0%
イ	学校の教育目標の具体化のために学年経営・学級経営を図っているか。	↑	3.7	70%	30%	0%	0%	3.4	45%	50%	5%	0%
ウ	自らの分掌業務の進行管理をしっかり行い、他係との連携により、充実化と効率化を図っているか。		3.7	67%	33%	0%	0%	3.7	40%	60%	0%	0%
エ	保護者との連携や連絡に努めているか。		3.6	63%	30%	7%	0%	3.4	42%	55%	3%	0%
オ	地域や本校関係者・協力者との協力体制を構築できるよう努めているか。		3.4	52%	33%	15%	0%	3.3	37%	55%	8%	0%
カ	(教務) 諸帳簿の公正な記録と厳正な管理に努めているか。		3.8	85%	15%	0%	0%	3.8	77%	23%	0%	0%
キ	(進路指導) 高い進路意識を持たせながら、自ら積極的に学習に臨む姿勢を持つ生徒の育成に努めているか。		3.6	68%	24%	4%	4%	3.6	60%	40%	0%	0%
ク	(生徒指導) 生徒との心の触れ合いを重視するとともに、基本的生活習慣を確立させるなど、はじめのある生徒指導に努めているか。		3.7	73%	23%	0%	4%	3.5	52%	43%	5%	0%
ケ	(生徒指導) 学校と寮での状況や変化を十分見守りながら、いじめの事前防止、早期対応を徹底できるよう努めているか。		3.6	65%	31%	0%	4%	3.6	57%	43%	0%	0%
コ	(寮務) 寮則を遵守させ、よりよい生活習慣を確立させて、仲間づくりを推進させる場とするよう努めているか。	↑	3.7	73%	23%	0%	4%	3.2	30%	62%	8%	0%
サ	(広報戦略) 多様な機会を通じて、本校の特色ある教育活動の姿や生徒たちの様子を広く伝えようとしているか。	↑	3.7	69%	31%	0%	0%	3.3	45%	40%	15%	0%
シ	(保健指導) 多様な指導の場面を通じて、生徒の健康意識や防災意識を向上させるよう努めているか。	↑	3.8	77%	23%	0%	0%	3.3	37%	58%	5%	0%
ス	(授業者) 毎回授業の目標を明確に示し、生徒が意欲的に取り組む授業展開を図ったか。		3.6	61%	35%	4%	0%	3.4	37%	63%	0%	0%
セ	(授業者) 目標設定や生徒個々の状況に合わせて授業を展開し、最後には何を学習したかをよく理解させたか。		3.5	58%	38%	4%	0%	3.3	31%	69%	0%	0%
ソ	(授業者) 知識や技能をしっかりと身につけさせるとともに、思考したり、表現したりする力も高める授業であったか。	↑	3.6	65%	31%	4%	0%	3.3	40%	54%	6%	0%

昨年度比0.3以上プラスの場合「↑」、0.3以上マイナスの場合「↓」

(4) 評価のまとめ

ア 昨年度からの変動が大きかった項目（昨年度より0.3以上差があったもの）

(ア) 上昇した項目

- ① 【保護者】 本学の建学の理念は、日々の教育に生かされている。（+0.3）
- ② 【保護者】 それぞれの能力に応じて、成績を伸ばす適切な学習指導がなされている。（+0.3）
- ③ 【保護者】 広報活動がよくなされており、学校の様子が分かる。（+0.3）
- ④ 【教職員】 多様な指導や相談の場面で、校訓「大志、叡智、至誠」の精神が、生徒たちに培われるよう努めているか。（+0.3）
- ⑤ 【教職員】 学校の教育目標の具体化のために学年経営・学級経営を図っているか。（+0.3）
- ⑥ 【教職員】（寮務）寮則を遵守させ、よりよい生活習慣を確立させて、仲間づくりを推進させる場とするよう努めているか。（+0.5）
- ⑦ 【教職員】（広報戦略）多様な機会を通じて、本校の特色ある教育活動の姿や生徒たちの様子を広く伝えようとしているか。（+0.4）
- ⑧ 【教職員】（保健指導）多様な指導の場面を通じて、生徒の健康意識や防災意識を向上させるよう努めているか。（+0.5）
- ⑨ 【教職員】（授業者）知識や技能をしっかりと身につけさせるとともに、思考したり、表現したりする力も高める授業であったか。（+0.3）

(イ) 下降した項目

なし

イ 生徒、保護者、教職員の意識差が大きかった項目（平均差が±0.3以上）

(ア) 校訓について（教職員と生徒間の意識差：0.7）

↑ 【教職員】 多様な指導や相談の場面で、校訓「大志、叡智、至誠」の精神が、生徒たちに培われるよう努めている（3.5）

↓ 【生徒】 あなたは校訓「大志」「叡智」「至誠」を日々のなかで意識している（2.8）

(イ) 寮則について（教職員と生徒間の意識差：0.3）

↑ 【教職員】（寮務）寮則を遵守させ、よりよい生活習慣を確立させて、仲間づくりを推進させる場とするよう努めているか。（3.7）

↓ 【生徒】 あなたは寮則を遵守しており、寮学習もきちんと取り組んでいる。（3.4）

5 楠隼の教育推進委員からの意見及び質問

- 校長から特色ある教育活動について話があったが、生徒たちは多様な価値観を取得していくための様々な取組ができていて、そういう機会を与えられていると感じた。将来様々な進路先で活躍していくことだと思うが、この中から何かを生み出す生徒が出てくれたら嬉しい。
- 特色ある教育活動について、農業漁業民泊体験などで協力できることがあれば是非協力したい。
- 色々なところから集まって、生徒指導上の問題や寮での指導があって、大変だろうと想像する中で、進学先できちんと成果を出しているのはやっぱり凄いと思う。
昨年度から委員会に参加させてもらって、小学校5年生から女子が入ることについて地元の小学校として何かできないかと考えていて、昨年度も特に何もしなくても学力の高い児童が挑戦して結果的に進学した子もいたので、特別なことをしなくても関心のある子は進学するのだと思った。例えば、昨年度、建築家になった卒業生に40分講演してもらったら子どもたちがすごく影響を受けていた。もしかしたら、楠隼に行く前提ではなく、「中学校ってこんなに面白いんだよ。」という話を生徒さんから話してもらえれば、小学生は影響を受けてやってみたいと思うかもしれない。
- P T Aの立場として子供がいつもお世話になっている。自分は曾於市に住んでいるが、地元の小学校5年生のお子さんの中には関心のある子がいることは噂に聞いている。全体でどうかは分からないが、行ってみたいという話は聞いている。
昨年度から楠隼に子どもがお世話になっていて寮にも入っているが、たまたま春休みに布団回収のスタッフとして行ったことがあった。部屋の中まで回収することがあったが、部屋が散らかっている生徒もいて、どこで寝ているのかというような部屋もあった。学習にも影響してくるのではないかなと思うので改善してもらいたい。
- 校訓について教職員や生徒の評価が上がっているが、何か特別に行ったことがあるのか。教職員の共通理解などはあったのか。
→ 確認や調査は特に実施していないが、教職員の意識が上がったのだと思う。
今年度初めの始業式の校長式辞で校訓について述べた。生徒には具体例を交えて伝え、教職員も意識して指導していたように思う。
- 寮則についても同様に評価が上がったが、何か手立てを行ったのか。
→ 寮学習の仕方を変えた。生徒がみんなで取り組む時間を長くしたことで色々な面で引き締まったのではないかと考えている。
- 校訓に関することで教職員と生徒の評価の認識のずれについてはどう考えるか。
→ 生徒の意識が低いということではなく、教職員と生徒の意識が同時に向上した結果ではないかと考える。どちらも上がったが、生徒に比べ教職員の上がり幅が大きい分だけ差が開いてしまったと考えている
- 楠隼は他の地域から生徒が多いので地域になじみづらいのかと思ったが、流鏝馬祭りに楠隼から手伝いに来る生徒が多かった。流鏝馬駅伝にも多くの生徒が参加してくれて地域とともに活動する姿を見てうれしく思った。

- 女子生徒の受入で寮はあるのか。人数は分からないとしても令和7年度には準備を進めて行くのか。
→ 第3棟を改修する予定で進めている。
- 通学生については、距離的なものはどうするのか。交通が発達していないが、保護者が送迎するのか。
→ 特に通学距離は設けていない。保護者の送迎となる場合もあると思う。
- 令和8年度からは現在の在校生についても通学を認めるということなのか。
→ 令和8年度入学の中学生から通学生の受入が可能となる。従来の在校生については、全寮制である。令和11年度からは高校で募集停止となる。
- 生徒を募集するにあたって、県外への広報活動は今後も続けるのか。
→ 今後も継続する予定である。県教委は今後の県外受検会場については検討すると発表しているが、学校としては広報を継続していく考えである。
- 今年度の中学校の出願状況はどうだったか。
→ 昨年度並みであった。
- 高山中入学予定者からも多くの生徒が受検したようだが（学級減の可能性もあるほど）、途中から通学への変更が可能なのか。
→ 来年度の入学生は全寮制のため、途中から通学に変更できない。
- 入学者のうち、県外と県内の割合はどうか。
→ 今年度は県外生の割合が増えた。また、高山中校区の入学予定者も過去最大となっている。
- 色々な所から生徒がくると思うが、生徒指導上の問題をどう考えているか。
→ どのような生徒が入学してくるのか読めないところがある。
- 通学と寮の選択は完全に生徒に任せていくのか。それとも学校として寮のメリットを伝えて入寮を勧めていくのか。途中からでも通学から寮に切り替えられるようにできればよいのではないか。最初は寮に消極的だったが、子どもが生き生きと学校生活を送っているのを見ると、寮も良いのではないかと思っている。